



左上／広々とした掃き出しの開口を2面に持つ書斎。爽やかな風が吹き抜けるその建具もオリジナルに造作したものだ。左下／リビング開口部から飛び込んでくる美しい緑の風景が癒しの空間を演出する。右／南側外壁は40mm厚のトドマツを使用した下見板張り。既製品ではなく、造作したサッシが独自のデザイン性を表現する。



DATA	主要用途	専用住宅
	敷地面積	833.02㎡
	建築面積	247.18㎡
	述べ面積	288.72㎡
	構造	RC+木造
	階数	地下1階・地上1階
	建築条件	第一種低層 住居専用地域

石出 和博 Kazuhiro Ishide

建築家
一級建築士事務所アトリエAM代表取締役所長
HOPグループ代表 CEO

北海道出身。89年一級建築士事務所アトリエAM(株)設立、全国で作品を発表。96年林野庁と北海道の支援を受け、新しい住宅供給システムHOPを設立育て上げた。97年グッドデザイン北海道、2001年林野庁長官賞、2006年経済産業大臣賞、(消費者志向優良企業)など。著書に「家を建てる前に読む本」ハウズドクター診察室(2005年刊)石出和博とアトリエAMの世界(2008年刊ART BOX社)などがある。2010年経済産業省JVA環境特別賞受賞

設計と施工が一体となり、魅力ある住宅が生まれる

森を建てよう。HOPグループは、この理念のもと、人工林から間伐された国産材を徹底して使用する。木材利用率を高めることで、植・育林のサイクルが正常に働き、森林の荒廃に歯止めがかけられる。同時に、木材を使って家を建てることで、森林が吸収した二酸化炭素を定着させることができる。しかし、そこには優れたデザインと、品質を確保しながらそれを形にできる施工技術が必須となる。なぜなら、住宅として魅力あるものが造れなければ、すべては理想に終わってしまうからだ。

そこで HOPグループでは、設計と施工を一体化させた住まいづくりの体制を敷いている。自社設計施工を行っている工務店や住宅会社は少ない。そのいずれもが、もともと施工をメインとしているのに対し、HOPグループは

設計事務所としてのデザイン力を全面に打ち出す。そして、そのデザイン力の裏付けとして技術力があるという構図だ。それは現場での施工にとどまらず、間伐した木材の狂いを抑える乾燥方法やプレカット技術、強度を担保する接合金物に至るまで開発し、さらに建具や造り付け家具も自社工場で作成する。設計と施工が互いに切磋琢磨し、そのせめぎあいの中から、施主の思いを汲み取った一つの空間が生まれる。スタイルはさまざまに、しかしそのいずれもに、古びるのではなく時を経て深まる自然素材が生かされている。この思想のもとに、HOPグループの住まいづくりは、東京、神奈川、軽井沢を始め京都、北海道と全国で展開されている。



上／伝統の様式とスケールを、現代的なセンスで読み解いた和室。日本人の原点としての、落ち着いた安らぎの空間だ。下／質実なコンクリートと無垢材の柔らかさが交わる、ダイナミックな構成の多目的室。奥に見えるこの和室とのコントラストが、独特の趣を与えている。

HOP

Housing Operation Architects Group

ハウジングオペレーションアーキテクト

横浜市西区みなとみらい2-3-1クイーンズタワーA棟 7F
横浜・札幌・京都・旭川・帯広

HOPグループ
設計:アトリエAM株式会社
施工:ハウジングオペレーション株式会社

☎0120-55-2486
<http://www.hop-east.com>

HOP

PR